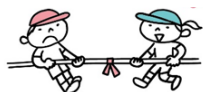




1. 体育祭



5月16日(土)たくさんのご家族の声援を受けながら、イングランドらしい曇り空の下体育祭が行われました。今回は記念すべき第一回目のハウス対抗の体育祭で、全員が全力で駆け抜けた一日となりました。新年度が始まり、体育の授業や放課後の時間を使って練習してきた学年ダンスや各競技では、それぞれ練習の成果が存分に発揮されました。競技では Silverbrook House が、学年ダンスでは3年生が優勝しました。

当日まで種目の考案やルールの設定、準備を頑張ってきた体育委員の皆さん、振り付けやフォーメーションを頑張って考えて仲間を導いたダンスリーダーの皆さん、練習や当日にハウスの士気を盛り上げた団長の3人を中心に、全員が最後までよく頑張りました。ハウスの団結もクラスの団結も、さらに高まったことでしょう。リレーや障害物・借り人レースでお手伝いいただいたご家族の皆さんも、ありがとうございました。



2. 進路説明会

5月11日（月）、オンラインにて3年生保護者対象進路説明会を実施いたしました。当日は学年を問わず多くの方が参加され、進路に向けた関心の高さが感じられる会となりました。

説明会では、まず全国および本校の2026年度大学入試の分析と、来年度に向けた2027年度入試の見通しについてお伝えしました。近年の入試動向として、学校推薦型・総合型選抜の拡大や、出願戦略の複雑化、英語外部検定の活用状況など、最新のデータをもとに解説しました。続いて、本校の進路指導体制や、3年間のロードマップ、受験に向けた準備のポイントを共有し、最後に質疑応答を行いました。

事後アンケートでは、参加された保護者の皆さまから「具体的なスケジュールが把握できた」「受験資格や注意点が理解できた」といった声をいただきました。また、「IBの活動内容や総合型選抜の実例を知りたい」といった今後へのご要望も寄せられ、今後の個別相談の充実につなげてまいります。

進路は、生徒一人ひとりの将来に関わる大切な選択です。本校では、担任・チューター・進路指導部が連携し、保護者の皆さまとともに生徒の進路実現を支えてまいります。今後とも温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

進路指導部より 英検一次試験の結果と今後の受験について

5月27日（金）に本校を会場として実施した英検一次試験の結果が、約1か月弱で返却される予定です。英語資格が大学出願の必須条件となる場合や、合否を左右する重要な要素となることがあります。特に3年生につきましては、結果が届きましたら、必ずご確認ください。もし一次試験が不合格となった場合は、夏休みに日本で受験できる英語検定の申し込みを早めにご準備ください。出願時期に間に合わせるためにも、計画的な受験が必要となります。

なお、英検には、筆記による一次試験（3技能）合格後に、二次試験（1技能）へ進むこととなりますが、CBT（Computer Based Test）方式では4技能を一度に測定できるため、満点（最高点）の設定が高くなるという利点があります。受験機会の確保やスコア向上の観点からも、CBTでの受験をお勧めいたします。

3. IBDP トークセッション(オンライン)

5月10日（日）に、1年生GSコース生徒および保護者を対象に、IBディプロマプログラム（IBDP）トークセッションを実施しました。

① ディプロマプログラムを通して身につく力

② IB生の大学受験

の2点を主な柱とし、質疑応答を交えながら約1時間にわたってセッションを行いました。

当日は、良い大学に入るその先において、「どのような力が必要となるのか」という問いを投げかけながら、生徒一人ひとりにとってIBでの学びが適しているのか、あるいはGSコースでの学びが適しているのかを考える機会とさせていただきました。

また、IBスコアと進学先との関係についても参考データをもとに紹介し、進路選択への具体的なイメージを深めていただきました。

4. Stバーナード校来校

4月23日新たに9名でスタートしたKBK（国際文化交流委員）の初めての活動として、現地校であるSt Bernard校との交流会を実施しました。今回はSt Bernard校から14名の生徒を迎え、本校生徒が企画・運営したフールツバスケットとWordウルフと一緒に楽しみました。

交流の中では、日本語を学んでいる現地校の生徒たちと、お互いに英語と日本語を教え合う姿も見られ、言葉を通して自然に交流が深まっていました。生徒たちは積極的に英語を使いながら、笑顔あふれる時間を過ごしていました。

次回はSt Bernard校を訪問し、一緒にクリケットを行う予定です。1年間の交流を通して、文化の違いを学び合い、互いに視野を広げる貴重な経験となることを期待しています。



5. United Select 生と高3生との交流会

5月11日（月）、本校サッカーコース生が日頃から一緒に練習を行っているユナイテッドセレクトの生徒15名が本校を訪れ、高校3年生の英語探究の授業で交流会を行いました。

4限目の授業では、「書道」「折り紙」「日本の遊び」の3つのブースを用意し、セレクト生にそれぞれを体験してもらいました。書道のブースでは、英語の名前を漢字に置き換えて書いたり、「サッカー」「家族」など、セレクト生が興味を持った漢字を高校3年生が教えたりしました。折り紙のブースでは、こどもの日が近かったこともあり、兜や手裏剣を一緒に折りました。また、日本の遊びのブースでは、福笑いやお手玉、将棋などを体験しました。中でも特に人気だったのはけん玉で、笑い声の絶えない楽しい時間となりました。

昼食では、本校自慢のランチを帝京生と交流しながら楽しみ、会話にも花が咲いている様子でした。

午後の授業では、餅つきを体験しました。セレクト生にとっては初めての経験で、杵の大きさや餅つきの迫力に驚く姿が見られました。最後は、自分たちでついた餅を味わいながら、高校3年生との交流会を締めくくりました。

高校3年生にとっても、英語で説明したり交流したりする貴重な機会となり、終始笑顔あふれる時間となりました。



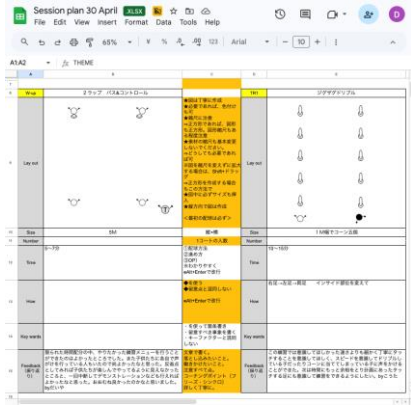
6.各コースより

サッカーコース

イギリスの地でプレーするだけでなく、コーチングについて学ぶこともサッカーコースの特徴です。実際に指導に必要なスキルはオンラインベースで英語で知識をインプットし、さらに近隣の小学校で指導実践も行っています。

グループに分かれ、それぞれ指導計画を立てて小学生に向けて英語で実践を行います。

実際に指導者の立場に立ち、伝えることの難しさを感じるとともに指導者の目を養うことは、プレイヤーとしての資質の向上にもつながることでしょう。



The image shows a screenshot of a session plan document titled "Session plan 30 April". It contains a table with columns for "Day", "Time", "Topic", and "Notes". The notes are in Japanese and describe the activities and objectives for the session. The document is displayed in a web browser window.

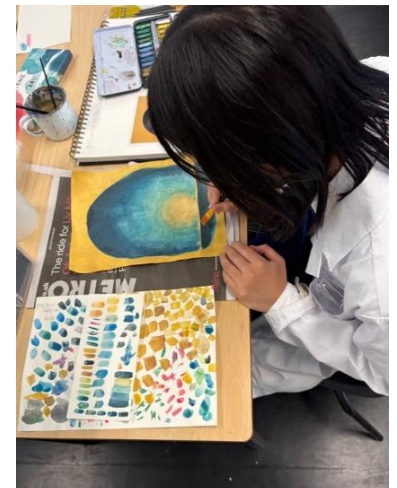
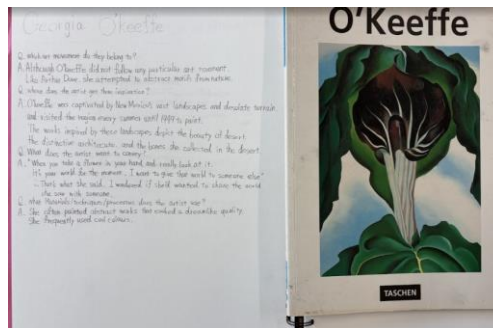


アートコース

ISCA による Art & Design の授業ではジョージア・オキーフというアーティストの調べ学習と作品を模写することで、色の勉強をおこなっています。一見簡単そうに見えた絵も、実際に描いてみると複雑な色味やグラデーションの表現方法に気づいた様子でした。Fashion & Textile の授業では、さまざまな刺繍のテクニックと名称を学んでいました。

「海外から見るジャポニズム」授業では、アルフォンス・ミュシャのリサーチをおこないつつ螺鈿や蒔絵といった日本の伝統工芸に触れ、その技法や美意識が海外でどのように受け止められてきたのかを学びながら制作に取り組みました。現在は、緑舎祭での展示に向けて沈金盆を制作しており、手仕事を通して日本文化の奥深さを探究しています。英語で学ぶイギリスの美術教育の授業では、多様な価値観や表現の捉え方に触れることができ、日本語で学ぶアートの授業では、海外から日本美術を見る視点を通して、自国の文化を新たな角度から見つめ直すことができます。

言語や文化の違いを越えながら、美術・芸術の歴史や文脈を知り、自分自身の感性や視野を広げてほしいです。



7. 寮日より

体育祭の代休を使って、学園からスクールバスで 40 分程のところにある絶叫系アトラクションで有名な遊園地 Thorpe Park に希望者で行ってきました。毎年恒例行事になっていて、中には 3 年間欠かさずに参加している寮生もいます。少し小雨も降り、なかなか遊園地日和という天気ではありませんでしたが、いろいろなアトラクションに乗って楽しい時間を過ごしたようです。



また、整理整頓・時間厳守など基本的な寮生活のルールを守って生活していくことを目標に、寮執行部のメンバーが考えたポイント制度も始まりました。毎週月曜日のルームチェックで自室がとてきれいな寮生や自分で起きて朝食を欠食しなかった寮生、時間に余裕を持って登校できた寮生にポイントが加算され、各チームの合計ポイントが 1 番多かったチームは夏休み前の寮生会で賞品がもらえるそうです！みんなで声をかけあって、自立した寮生活を目指してほしいです。



8. 安全な ICT 利用に向けた取り組みについて (DSL より)

本校では、生徒の安全と福祉を守るため、Child Protection & Safeguarding Policy に基づき、オンライン上のリスクから生徒を保護する取り組みを進めています。児童保護の観点から、生徒がオンラインで触れてはならないリスクの高いコンテンツとして、性的またはポルノ的な内容、暴力的・過激思想を含む情報、差別的な表現やいじめにつながる投稿、違法なストリーミングやダウンロード、無許可ソフトや VPN など安全性を損なうツール、ギャンブル性のあるサイト、不適切な画像検索、さらには自傷行為や危険な行動を助長する情報などを想定しています。これらはいずれも生徒の心身の安全を脅かす可能性があるため、学校として明確に禁止すべき領域として整理しています。

学校のネットワーク利用は第三者の安全管理システムによって監視されており、不適切なアクセスが確認された場合には、スクリーンショットやデバイス情報とともに児童安全保護責任者 (DSL) へ自動的に報告されます。報告を受けた際には、学校として速やかに対応し、必要に応じて保護者の皆様へご連絡いたします。

生徒が安心して ICT を活用できる環境づくりのため、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

